新しい集落支援員のご紹介

平成30年4月1日より新設された次世代定住課では、移住定住および子育て環境整備の業務を行っています。

地方の過疎化が叫ばれるなかで、地域の住民が主体となり、行政と連携しながら集落再生事業に取り組むために、その活動を支援する専任集落支援員が新しく就任しました。

名前：坂本　浩一郎（さかもと　こういちろう）
出身：熊本県　　趣味特技：魚釣り全般、ドライブ

専任集落支援員としての意気込み

ずっと県外で働いていましたが、久しぶりに南阿蘇に戻ってきました。
専任集落支援員として地域の皆様と役場との橋渡し役を担います。
5年後、10年後に「住みやすくなったし活気があるよね」と言われるような地域づくりのためのお手伝いができればと思います。

南阿蘇村 地域おこし協力隊通信 vol.14

こんなことしてます！

南阿蘇 食の商品開発プロジェクト事業

そば処である南阿蘇村のそば粉を使ったレシピの開発に取り組んでいます。

「ピッツォッケリ」というそば粉のパスタをご存知でしょうか。北イタリアのロンバルディア州ヴァルテッリーナ地区の伝統的なパスタ料理で、昔から親しまれている郷土料理です。

このパスタに合うソースや具材なども、南阿蘇村で作られている野菜など使って考案していきたいと思っています。（浜崎）

交通対策プロジェクト

南阿蘇鉄道の運休区間（中松駅～南阿蘇水の生まれる里白水高原駅）を歩くレールウォークの安全対策のため、鉄橋部分に手すりを設置しました。

10月6日の南阿蘇鉄道復活祭が台風25号接近のため残念ながら延期となりましたが、12月22日（土）の開催が決定となり、楽しみにしております。

皆さんも今しかできない線路の上を歩く体験、ぜひお楽しみください。
※中学生以下は保護者同伴のうえご参加ください。（小川）

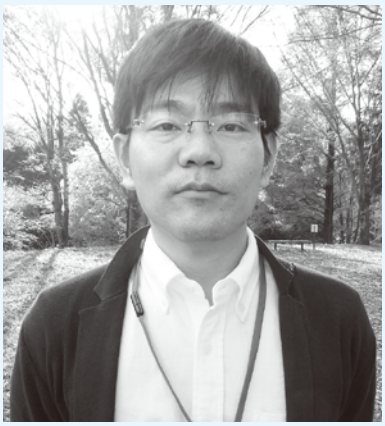
インバウンド対策プロジェクト事業

「インバウンド対策」とは、海外から日本にやってきたお客さんがスムーズに観光するための対策や、お客さんを呼び込む方法のことです。

現在、南阿蘇村の観光コンテンツを他言語で発信するために、情報を整理しています。

その中でも、南阿蘇村の魅力の一つである“水源”をレンタサイクル（電動自転車）で巡る、体験型プログラムを紹介する準備をしています。

村の魅力を伝えるため、画像や動画作りも行っています。（柚上・黄）



新しい協力隊員が入りました！

名前：大田　政史（おおた　まさひと）
出身：鹿児島県
担当：熊本地震による被災集落の再生関連業務
趣味特技：山登り、自転車

地域おこし協力隊任期中の目標

南阿蘇村の景色や温泉が好きで、自転車でよく走りに来ていました。
「被災集落の再生」の課題を地域の方と共に見つけ、少しでも南阿蘇村の復興を後押しできればと思います。